SUNSOFT
夢・創造・サンソフト
サン電子株式会社
〒483 愛知県江南市古知野町朝日250
TEL0587(55)3500 テレホン案内0587(55)1120

ファミリーコンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。

SHANGHAI

上海

SUNSOFT

© ACTIVISION, INC.

任天堂 ファミリーコンピュータ

この度は、SUNSOFTのファミリーコンピュータ用ゲームカセット「上海」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。「上海」をより一層、楽しく遊んでいただくために、ご使用の前にこの「取扱い説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用下さい。

ただ、この「取扱い説明書」でも、プレーヤーのみなさんのお手伝いできないことが、ひとつだけあります。しかも、それがこのゲームの最大の難問となることでしょう……。それは、このゲームを途中で飽きて止めてしまうことです。

ゲームの歴史

「上海」は古代中国のゲーム「麻雀」を源として開発されたゲームです。「麻雀」の歴史は、そのゲーム内容と同様に、謎に包まれていますが、その源流は、2500年も昔の孔子の時代にさかのぼるといわれています。

「麻雀」は、長い航海の退屈をまぎらわすために、船乗りや、漁師が最初に楽しんだゲームといわれています。そもそもは、カード・ゲームとして始められたものですが、カードでは、船上のデッキから吹き飛ばされてしまうため、次第に骨や竹製の牌が使われるようになりました。

1920年代(禁酒法時代)、「麻雀」は米国中に一大旋風を起こし、ゲームプレーヤーを、象牙製の牌のとりこにし、大流行しました。こうして、船乗り、ギャング、放蕩人などを、とりこにしてしまったゲームの最新版をSUNSOFTは、いま、みなさんにお届けいたします。

牌(パイ)の説明

「上海」は全部で、144個の麻雀牌を使っています。36個の万子牌（まんずはい）、36個の筒子牌(ぴんずはい)、36個の索子牌(そうずはい)、12個の三元牌(さんげんはい)、16個の風牌(かぜはい)、4個の花牌(はなぱい)、4個の季節牌(きせつはい)があります。

万子牌(まんずはい)

万は、文字や俳優とも呼ばれていますが、「人」を表したり、単に中国語の「文字」を表していると考えられています。

1マン　2マン　3マン　4マン　5マン　6マン　7マン　8マン　9マン

筒子牌(ぴんずはい)

筒子は、昔の船乗りのゲームに由来したものです。古代の他のゲームに使われたコインに形が似ていることから、この数牌は悪霊や金貨のルーツを表現しているものと思われます。

1ピン　2ピン　3ピン　4ピン　5ピン　6ピン　7ピン　8ピン　9ピン

索子牌(そうずはい)

索(そう)は、竹を表しています。竹は、古代の東洋諸国において、強力な竹槍として用いることが多かったため、索子は「勝利」または「威力」を表していると思われます。

1ソウ　2ソウ　3ソウ　4ソウ　5ソウ　6ソウ　7ソウ　8ソウ　9ソウ

三元牌(さんげんぱい)／ドラゴン牌

古代の「麻雀」では、前記三つの数牌が、それぞれドラゴンの一種として連携していました。

ハク　ハツ　チュン

白ドラゴン―筒子と連携
赤ドラゴン―索子と連携
青ドラゴン―万子と連携

風牌(かぜはい)

この４種類の牌には、特別に深い意味はありません。それぞれが、常識的に世界に吹く東西南北の風を表しています。

トン　ナン　シャー　ペイ

春夏秋冬牌(きせつはい)

この４種類も、また、意味は単純明解で１年間の四季を表しています。川の船乗りギャンブラーが、ゲームに追加した牌です。

春　夏　秋　冬

花牌(はなはい)

４種の花、らん・梅・菊・竹はゲームに華やかさとロマンスの趣向を加味するため中世紀の王女によって取り入れられました。

らん　梅　菊　竹

遊び方　HOW TO PLAY

144枚の牌が、ドラゴン配列に並べられています。牌は、1枚づつランダムに置かれますので、ドラゴンゲームは、毎回、独自で、異なった内容になります。配列によっては、きわめて難解なゲームとなる場合があります。

ドラゴン配列とは全部の牌をごちゃまぜにしてから、5階建てのピラミッドに組み上げる配列方式をいいます。ドラゴン配列の補足説明は20ページにあります。

パイの残り数

メッセージエリア

メニュー

高　さ

白　――1段目
黄　――2段目
水　色――3段目
ピンク――4段目
白　――5段目

★左右から見たドラゴン配列は、次のように見えます。

コントローラの使い方

〈Iコントローラ〉

✚ボタン ……カーソル(指)を上下左右又は斜めに移動させます。

Aボタン ……牌を選ぶとき、選んだペア牌を取り去る時、メニューを選ぶとき押します。

Bボタン ……一度、選んだ牌をキャンセルするときに押します。

STARTボタン…タイトル画面からゲームをスタートさせるとき押します。

SELECTボタン…使用しません。

〈IIコントローラ〉

ソリティアゲーム〔SOLITAIRE〕(一人遊び)、トーナメントゲーム〔TOURNAMENT〕の時は、Iコントローラと同様に使用できます。チャレンジゲーム〔CHALLENGE〕の時は、Iコントローラがプレイヤー I 用IIコントローラがプレイヤーII用となります。

ゲームの目的

このゲームの目的は同じ絵柄の牌ペア(対)を選び、取り出して、画面上から、できるだけ多くの牌を消し去ることです。

ゲームのルール

ルールは、簡単です。取り除ける牌は、「自由」牌だけです。その「自由」牌を、一度に2枚(ペア牌)を選んで、画面から消し去るわけです。

〈ペア牌を取るには〉

✥ボタンを使って、カーソルを移動させ、取ろうとする牌の上で止め、それぞれAボタンを押すと、ペア牌はともに色が反転します。そこで、もう一度Aボタンを押すと、ペア牌は消え去ります。

〈間違って選んだ牌を元に戻すには〉

すでに一度選んだ牌(色が反転している牌)の上でBボタンを押すと、もとの色にもどり、キャンセルされます。

1.「自由」牌とは

上に積み重なっている牌がなく、しかも、左又は右に自在に移動できる状態にある牌が、「自由」牌です。同じ階で、左右両側に別の牌がある場合その挟まれている牌は「自由」牌ではありません。「自由」牌でない牌を選ぼうとするとメッセージエリアに「NOT FREE」と表示されます。

2. ペア牌の作り方

同一絵柄の牌をペアで選んだ場合に限って、ペア牌(2枚)を取り去ることができます。例えば、風牌の場合、東牌はもう1枚の東牌とだけある

いは、筒子の場合、3筒牌はもう1枚の3筒牌とだけ、という具合にペアを組むことができます。2つの牌が、同一でない場合は、メッセージエリアに「NOT A MATCH」と表示されます。

3．ペア牌作りの例外

絵柄が同一でなくてもペアが作れる4枚の牌(すなわちペア牌2セット)があります。「春夏秋冬牌」と「花牌」です。例えば冬牌と夏牌、らん牌と梅牌、という具合に組合わせは、自由にできますが、春夏秋冬牌と花牌との組合せはできません。

4．19ページに補足説明がありますので御覧下さい。

基本攻略法

- まず最初に重点的にしなければならないことは、全体の牌消去を邪魔している4枚の牌を、取り除くことです。その4枚とは、横中央の列の右端にある2枚の牌と、同列の左端にある1枚の牌と、ドラゴン配列の頂上にある1枚の牌です。とにかく、この1枚の牌を、速やかに除去することです。
- 同じ絵柄の3枚の牌を、常に追いかける。それが、大事な戦略です。ペア牌を一式見つけたら、すぐに第3の(そして第4の)同絵柄の、自由牌を探すことです。3枚の同絵柄牌の中、ペア牌を除去したら、その残った1枚の牌が、やはり残り数が少なくなっている他の絵柄の牌を邪魔していないかどうか、確かめてください。その場面で、その牌では、ペア牌作りができない場合は、その牌を一時そこに残して、別の消去牌探しに移ってください。
- 4枚の同絵柄牌が、すべて自由牌になっている時は、すぐに除去して、次の局面へのスムースな展開を図りましょう。
- どんどん前向きに局面の展開(ペア牌作りと除去)を実行しましょう。

3種類の遊び方

「上海」には3種類の遊び方があります。「ソリティアゲーム」SORITIA GAME、「トーナメント」TUNAMNT、「挑戦」CHALENG です。

1．ソリティアゲーム
このゲームは、プレーヤーがひとりで遊ぶゲームで、制限時間はありません。

2．トーナメントゲーム
トーナメントゲームは、一定時間内にどれだけの牌が消去できるかを競うゲームです。また、他の人が同じ制限時間、同じドラゴン配列で挑戦して得点を競うこともできます。

3．チャレンジゲーム
2人のプレーヤーが交代で同一配列のドラゴン山からペア牌崩しをするものです。但し、このゲームでは牌移動に時間制限を課します。

プレーヤーは、次のいずれかの場合、もうひとりのプレーヤーと交代します。

- ひとりのプレーヤーが牌を2枚取り除いた時、または
- 制限時間終了の時はパスとみなされパスが4回続いた場合、又は、取り除く牌がなくなった場合、ゲーム終了となります。

ゲーム完了時に、消去牌数の多い方のプレーヤーが勝者です。

メニューの種類

メニューは画面下部に表示されています。メニューにアクセスするには、メニューをカーソルで指し、Aボタンを押します。メニューを選んだあとで、キャンセルしたい時、又は再びゲームを続けたい時は、カーソルを「CANCEL」あるいは「OK」に合わせてAボタンを押し、元のメニューに戻して下さい。以下メニューから選択できるアイテムについて、要約して説明し

ます。

1．TILEメニュー

あらかじめ用意されたドラゴン配列で、ゲームをするとき使用します。ルールはソリティアゲームと同じです。

2．NEW GAMEメニュー

新ゲームをスタートさせたり、プレイしたいゲームの種類（3種類の遊び方）を選択したりする時は、このメニューを使ってください。「ソリティアゲーム」「トーナメントゲーム」「チャレンジゲーム」のいずれかを選択します。

ソリティアゲーム〔SOLITIR〕

ソリティアゲームは、プレーヤー1人で遊ぶ「上海」ゲームです。プレイルールは前述した通りです。正々堂々とゲームに勝ちたい時は　ヘルプ〔HELP〕メニューにある BACK UP（手の打ち直し）、RETRY（ゲー

ムのやり直し）、FIND（手の内公開）などに頼らないでプレイすべきです。もちろん、本当に、にっちもさっちもいかなくなってしまった場合には、このオプションを利用してかまいませんが。

トーナメントゲーム〔TUNAMNT〕

トーナメントゲームでは制限時間を5分、10分、20分のいずれかを設定して、ワンゲームをおこないます。新しいトーナメント開始を決める人が、制限時間を設定します。同じゲームに複数のプレーヤーが参加できます。まずゲームを始めるには、NEW GAME メニューから TUNAMNT（トーナメント）を選択します。制限時間は、無制限、20分、10分、5分の4種類が与えられます。どのトーナメントでもその参加者は同じ制限時間でゲームを競います。

トーナメントのゲーム中、画面の左に、残り時間を示す時計が表示されます。ゲーム終了後、同じ配列でゲームをしたい時は「RETRY」新しい配列でゲームをしたい場合は「NEW GAME」をそれぞれ選択して下さい。

チャレンジゲーム〔CHALENG〕

チャレンジゲームは２人のプレーヤー間で、どちらがより多く牌移動できるかを競うゲームです。両プレーヤーには、１回の牌移動毎に、時間制限が課せられます。各プレーヤーは、自分の番の時に、牌移動を１回すれば１ポイントを得点します。

まず NEW GAME メニューから CHALENG（チャレンジ）を選択しますと４種類の制限時間（10秒、20秒、30秒、60秒）が与えられます。好きな制限時間を設定してＡボタンを押すと、ゲームがスタートします。

ヘルプ〔HELP〕メニュー

このメニューからは、「上海」ゲームについて、貴重な情報が巾広く選択できます。

①BACK UP（手の打ち直し）

ゲーム中、直前に打った手をやり直して、別の手を打ちたくなることは、

よくあることです。このサブメニューを繰り返し使えば、ゲームの開始点に戻ることだってできます。

②RETRY（ゲームのやり直し）

同じゲームを、何回も繰り返してやりたい時は、このサブメニューを選択してください。

③FIND（手の内公開）

「上海」ゲームの中で、ソリティアゲームでは、プレーヤーがある時点でそれ以上牌移動できなくなるとゲームオーバーとなります。このサブメニューを使えば、移動可能な牌を全部動かしたかどうか検証できます。

④PEEK（のぞき見）

ずるいやり方ですが、ある牌の下に、どんな牌が隠れているかを、見たい時は、このサブメニュー（PEEK）を使えば、それができます。しかしゲームの続きはできなくなります。

セッティング(SETTING)メニュー

「メッセージ」と「MUSIC」という2つのゲーム要素を変更するのに使うのが、このメニューです。

①メッセージ／ノー・メッセージ

メッセージとしては「NOT A MATCH」とか「NOT FREE」などのプロンプトがあります。メッセージプロンプトなしでゲームをしたい時は、「OFF」を選択してください。

②MUSIC

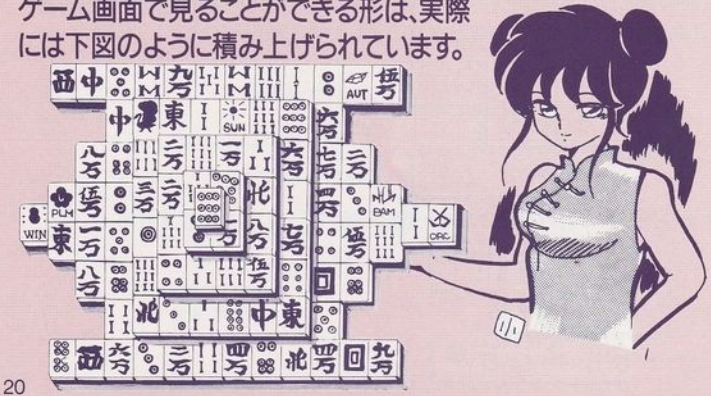
ゲーム中のBGMを、A，B，C，OFF の中から選ぶことができます。静かにゲームをしたい時は OFF を選択してください。

● 牌の右または左側のどちらかが開いている、つまり右端か左端であること（高さの同じ段ごとに右端と左端で考えます。）が条件です。

● 3つ同じ牌がとれる場合でも一度に一組（二つ）しか取れません。

どちらかの組み合わせしか取れません。

ゲーム画面で見ることができる形は、実際には下図のように積み上げられています。



使用上の注意

1．精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管、および強いショック等はさけて下さい。また、絶対に分解しないで下さい。
2．端子部に触れたり、水にぬらしたりしないようご注意下さい。
3．カセットを交換する時は必ず電源を切ってから行って下さい。

Original copyright © 1987 ACTIVISION, INC.
Source code for Nintendo FAMILY COMPUTER system designed by Sun Electronics © 1987 Sun Electronics under license from ACTIVISION, INC.
Original game design by Brodie Lockard